

平成24年12月

第2号

宇美町教育委員会

3つの輪

宇美町C・Sニュース

「地域とともにある学校づくりフォーラム」における宇美町の実践発表

平成24年10月3日に、かごしま県民交流センター（鹿児島県）において、「地域と共にある学校づくりフォーラム」が開催されました。このフォーラムは、コミュニティ・スクール等地域とともにある学校づくりについて、教育委員会、学校関係者、地域の人々を交えて協議を行うものです。フォーラムでは、先進的な取組を行なう教育委員会による取組事例の発表や参加者の熟議を通して、地域とともにある学校づくりの充実に向けた議論を深めました。

このフォーラムにおいて、宇美町教育委員会は、文部科学省より取組事例の発表を依頼され、宇美町教育委員会が取り組むコミュニティ・スクール推進の方策及び各校の具体的な実践例についての発表をさせていただきました。発表に対して、会場の参加者の皆さんからは、たくさんの質問をいただきました。これからコミュニティ・スクールを始めようとする自治体、学校からは、始めるにあたっての手順を、既に始めている自治体、学校からは、町全体としての統一した方向性をどのように示すのかという内容が多かったように思います。

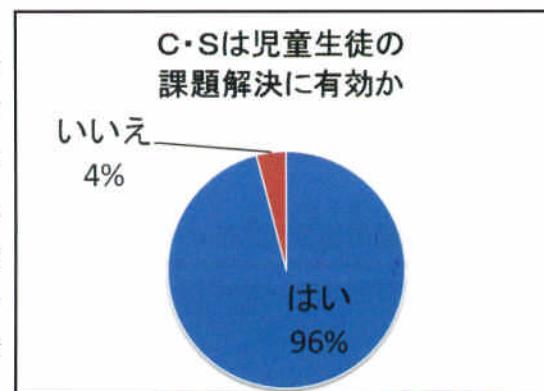
ところで、宇美町教育委員会では、この発表の前に、全学校運営協議会委員を対象としてアンケートを実施いたしました。その中の「C・Sは児童生徒の課題解決に有効か」という設問に対する回答結果がグラフのとおりです。学校運営協議会委員の皆さんに、確かな手応えを感じつつご参画いただいていることに感謝いたしますとともに、心強く感じております。この結果は、発表資料でも示させていただきました。宇美町の本気度を伝えることができたと思います。なお、アンケート結果の詳報は、今後別の機会でさせていただきます。

注：宇美町教育委員会の発表資料は、文部科学省ホームページ<http://www.mext.go.jp>より閲覧することができます。

※「地域とともにある学校づくり推進協議会実施報告」で検索しても閲覧できます。



【実践発表する学校教育課松本剛指導主事】



【アンケート回答結果の一部 H24年9月実施】

「What's? C・S」

コミュニティ・スクール道場 二の巻



「そもそもコミュニティ・スクール（C・S）って何？」と思われている方に、C・Sについての情報をQ&Aで説明するこのコーナー。

第2回は、前号で予告しておりましたものから「熟議とは？」「学校運営協議委員の選出は？」に加え、「全国のC・Sの指定状況」についてお答えします。

なお、「C・Sの成果と課題」は、第3号に掲載いたします。ご了承ください。

Q1：熟議とは？

熟議とは、目標の達成に向け、参画者全員が協働してすべきことを協議する対話のことです。具体的には、「①当事者が集まり②課題に対する学習、熟慮、協議をして③互いの立場や果たすべき役割が深まり④解決策が洗練され⑤個々人が納得して自分の役割を果たすようになる」一連の過程を意味します。

コミュニティ・スクールだけでなく、例えば生徒会など色々な場でつかえる「協議のツール」です。文部科学省のホームページにも熟議についての説明が掲載されています。

Q2：学校運営協議会委員は誰でもなれるのですか？



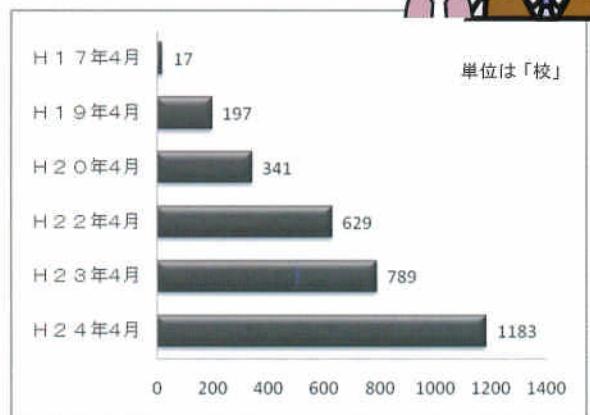
学校運営協議会委員には、保護者、地域の方が含まれる必要があります。また、その他のメンバーとして、学識経験者等、学校運営協議会の制度に精通している方の参加も望まれます。宇美町教育委員会は、規則により委員として委嘱又は任命できる方を規定しています。この規定に沿いながら、学校や地域の実情を踏まえ、バランスのとれた選出となるよう配慮します。

Q3：全国のコミュニティ・スクールの指定状況はどうなっているのですか？



グラフでも明らかなように全国のC・Sの指定校は、毎年確実に増えています。現在、38都道府県、122市町村において、幼稚園、小、中学校、高等学校、特別支援学校が指定されています。福岡県では60校が指定されており、九州では最も多い指定数となっています。

宇美町近隣の市町では、春日市、太宰府市、那珂川町、福津市にC・S指定の学校があります。



次回は「C・Sと他の学校の違いは？」「C・Sの成果と課題は？」についてお伝えする予定です。

わたしたちの「3つの輪」～各学校区の実践紹介～



前号では、桜原小学校を紹介しましたが、今号では、同じ宇美東中学校区の宇美東小学校と宇美東中学校、そして宇美南中学校区の原田小学校、宇美南中学校の計4校を紹介します。



宇美東小学校

宇美東小学校のコミュニティ・スクールの活動は、準備期間を含めると3年目の活動となり、学校・家庭・地域が連携・協力して活力ある学校づくりをめざして活動を進めています。今年度4回を予定している「学校運営協議会」では、教育活動の報告や評価結果の公表・説明等を行い、いただいたご意見を今後の教育活動に反映させ、より良い学習環境の整備に努めています。活動の一端を紹介しますと、学習支援部会では、「しづか・のびたタイム」という計算プリントの○付けがこれまでの主な活動でしたが、遠足の支援や校外学習支援・持久走補助などへと活動の広がりが見られるようになりました。

また、今年度の努力点として、学習支援部会・あいさつ部会・環境整備部会・読み聞かせ部会の改善と活性化を図るためにそれぞれの部会で「交流会」を設定し、多くの方々の意見交流と情報交換の場の設定を行っています。今年度6月に整備された「コミュニティ・ルーム」が、この交流会等の集いの場として大活躍しています。



宇美東中学校

本校は「東耕プロジェクト」と銘打ち以下のようなコミュニティ・スクール推進事業に取り組んでいます。①JRCの充実…青少年赤十字の理念のもと、東日本復興のためチャリティー活動等に参加しています。②オープンスクール…区長さんをはじめ地域の方々を定期的に学校見学に招待しています。意見交換会では忌憚のない意見をいただき学校運営に反映させています。③東耕バザー…PTAが中心となって毎秋に実施しています。地域の方々・生徒も一体となりファンダ活動に取り組んでいます。

また、毎学期開催される学校運営協議会では委員の皆様から学校全般にわたる貴重な御意見をいただいています。

特に福岡教育大学名誉教授 横山正幸先生からは教育界全般の動向を踏まえ本校の進むべき方向性を示唆して頂いています。



原田小学校

本校学校運営協議会は、学校・家庭・地域の「協働」をキーワードに、3つのハーモニー〈学びの育成〉〈心の育成〉〈体の育成〉に向けて、取組を進めています。例えば、ボランティアの方による、クラブや委員会での協働活動、生活科・総合的な学習の時間への支援により、豊かな体験活動が仕組めるようになりました。毎朝のあいさつ励行の支援や安全指導、持久走大会や運動会の会場設営や安全確保など学習環境を整える取組も、子ども、教職員と家庭、地域の皆さんと一緒に進めています。また、校区の特徴を活かし、宇美南中学校との校区コミュニティー委員会を立ち上げ、熟議による来年度の小中合同の活動づくりをじっくり進めています。また、試行として入学説明会と合わせた部活体験や合唱鑑賞などショートステイの体験入学の計画も進みつつあります。

今後も学校と家庭と地域が、小学校と中学校が一体となって、宇美町を担う自立した子どもの育成を目指し、活動の充実を図ります。



宇美南中学校

本校のコミュニティ・スクールは学校・家庭・地域が連携して、子どもたちの教育に取り組んでいくことをねらいとしています。その中核になるのが学校運営協議会です。宇美南中学校では昨年の3.11の東日本大震災以前より安川学校運営協議会会长のご意見として、地域と連携した防災教育に取り組む計画を立ててきました。昨年は、避難訓練を地震による火災発生による避難と想定し実施しました。その際に地域の区長さんや民生委員さん、公民館主事さん、地域の防災担当の方などに見ていただき、ご意見をいただきました。今年は、まず9月13日に授業参観の形で防災学習をしました。事前にアンケートをとったり、東日本大震災の映像や実際に東北へ見に行った本校職員の映像記録を教材に活用して授業を行い、当日は避難訓練を南部消防署署員立ち会いのもとに行いました。その後、役場の総務課の方に宇美町の自然災害の歴史について話を来ていただきました。さらに部友6グループに分かれ、区長さん方から各部友での中学生が地域にできる防災について協議を行いました。来年度は、小学生も交えて防災訓練を企画したいと考えています。



編集後記

今年は、例年に比べて11月からの冷え込みが続き、山の紅葉が美しいそうです。学校の校庭に立つ木々の葉も鮮やかな赤、黄の色を見せていましたが、はらはらと風に舞う葉も増えてきました。黙々と落ち葉を掃き集める子ども達の姿に、冬を感じるこの頃です。

冷たい朝の空気の中、宇美町のあちらの交差点、こちらの横断歩道にたくさんの方が黄色い旗をもって子ども達の安全を見守ってくださっています。手に息を吹きかけながら子ども達に笑顔で声をかけてくださる皆様に、感謝の気持ちでいっぱいになります。

宇美町教育委員会学校教育課

宇美町宇美5丁目1番1号

電話 934-2245

FAX 933-9211

E-mail : gakkou@town.umi.lg.jp